

飼育日誌

9/1	アミメキリン	有料のエサやり体験を開始。キリンの誘導に工夫が必要。	10/16	ハリスホーク	新規個体の搬入(入れ替え)。非常に落ち着いている。
9/2	アフリカタゲギヤマアラシ	6/14出生個体は「おこげ」と命名	10/17	シンリンオオカミ	シンメ、ジュディー♀ ターゲット棒に反応し、フェンス越しにエサを取りに来るようになった。
9/4	アライグマ	♂2頭間の威嚇行動が頻繁に見られる。		ジャンボウサギ	第25回全国ジャンボウさぎフェスティバル実行委員会からジャンボウサギ(♂、♀)の寄贈を受ける。
	シバヤギ	丞之助(♂、2月齢) ♀へのマウント行動が発現。			
	シンリンオオカミ	ジュディー♀ フェンス越しに鶏頭を給餌。警戒しながらも、採食する。	10/21	ニホンリス	全個体を確認。動き活発で、冬毛に生え変わっている。
9/5	キョン	ユウキ♀ 作業時に巣箱に入らず、パニック状態になる。	10/23	コモンマーモセット	9/14出生個体 単独行動する時間が増えている。
9/6	シンリンオオカミ	♀(ハナ、アメ)を常時展示できるよう仕切りを移動。	10/24	カナダヤマアラシ	もずく♂ 糞中に蟻虫を確認。
9/10	チンパンジー	ジュディー♀ たてがみが伸び、夏毛から冬毛に生え変わってきている。	10/25	シバヤギ	ヤムチャ♀ 発情継続。♂の寝室を見て、なかなか外に出ようとしなない。
		コムノスケ♀、ノリコ♀、ココ♀、コタロウ♂	10/26	ニホンザリ	マイクロチップによる全個体の識別作業終了。
9/11	ワタボウシバンシェ	トラブルなく同居展示に移行。	10/31	コウノトリ	親2羽が巣台からヒナ2羽を追い払うようにクラッターリング。
9/12	ミニブタ	キーパーに近寄ることが多くなっている。	11/1		鳥・豚のインフルエンザ監視体制スタート(3月末まで)
	ヨツビハリネズミ	トン平(去勢)、トン吉(去勢)をストレス発散のため、芝生で遊ばせる。	11/2	ポリビアリスザル	はなび♀、おはぎ♀、イチ♀の3頭でじゃれ合っていた。
9/13	アミメキリン	ハンドリング開始。抵抗なく、手の上に乗った。	11/4	チリーフラミンゴ	ヒナが孵化。♂がフラミンゴミルクを与えていた。
9/14	コモンマーモセット	カンタ♂ フレーメン、追尾行動を確認。	11/5	ホンドタヌキ	闘争により、ポン♂左頸部出血、ポコ♀左後肢咬傷。
9/15	カビバラ	2頭出生。イツキ♂とこもも♀が1頭ずつおぶっていた。	11/7	アライグマ	No.2299♂が屋根から落下し、左第1指の爪を欠損、出血。
9/17	アフリカゾウ	レナ♂とマツ♀の数回の交尾確認。	11/9	トナカイ	マオ♀ 頭絡装着し、歩行トレーニング。人に付いて歩く。
	ホンドキツネ	高圧ホースで水浴びさせる。大変気持ちよさそうにしていた。	11/10	マーコール	♂群 逆毛、角突き行動顕著。
	アナグマ	体重測定。ホンドキツネ5.36kg、アナグマ5.30kg。	11/12	ジャンボウサギ	格さん♂とビビ♀を同居。交尾4回確認。
9/18	ハクビシン	展示場への移動スムーズ。		ホンドフクロウ	フクジロウ♀ ジャンプアップトレーニング開始。
		キーパーに近寄ることが多くなっている。	11/15	チリーフラミンゴ	ヒナ 順調に成長。足がピンク色から黒色に変化してきている。
9/20	チリーフラミンゴ	ベアの交尾確認。	11/16	アカカンガルー	デニーロ♂とトマノスケ♂がスパーリング。
9/21	ミーアキャット	ナナエ♀ 腹囲膨大し、妊娠している様子。	11/23	ニホンイヌワシ	♂個体を入れ替えし、新ペアは西目♀×風斗♂とする。
9/23	ラマ	来園者とふれあひながら、散歩トレーニング。	11/27	アフリカゾウ	♂♀ NS乳酸菌を液状添加した乾草は食いつき良好。
9/24	アカコンゴウインコ	ヒロ♂ 来園者とふれあひながら、散歩トレーニング。	11/29	ボニー	♀♀ NS乳酸菌を液状添加した乾草は食いつき良好。
9/25	アフリカゾウ	メレブ♀と判明。P B F D陰性。			クリン(去勢) 大分体力がついたのか、傾斜道を上り下りして青草を食べていた。
9/28	ノドジロオマキザル	2人体制時の収容訓練実施。発情ホルモン測定のための採尿を開始。			ララ♀ 死亡。仔の行動に特に変化はない。
9/30	エミュー	ナナエ♀ 腹囲膨大し、妊娠している様子。	11/30	アフリカゾウ	夜間、♂♀寝室の仕切りを完全オープンにする。
	ボアコンストラクター	来園者10組がえさやり体験を試行。	12/1	ニホンリス	新設リス舎(リスの木)に♀3匹を移動。せわしく動き回る。
10/1	アフリカタゲギヤマアラシ	終日、室内でとぐろ巻いたまま動かない。体色、眼球も脱皮の徴候なし。	12/2	ジャンボウサギ	助さん♂ 動物慰霊祭に参加。
	タンチョウ	全個体、牛骨をよくかじっている。	12/3	コクチョウ	ヒナ 背中が生毛が抜け、新しい羽が見える。嘴も白くなってきた。
10/2	レッサーパンダ	ヒナ 胴体の羽色が親に似てきた。	12/4	ホンドフクロウ	フクジロウ♀ フライトトレーニングを開始。
	ワビチ	全頭(ユウタ♂、ナナ♀、陸♀)を屋外展示。	12/7	カリフォルニアアシカ	マヤ♀ 倒立姿勢がだいぶ安定してきた。
10/3	ノドジロオマキザル	ナナ、陸で闘争あったが、大事に至らない。		ケヅメリクガメ	カメコ♀ 産卵(11:30~12:00)。
10/4	ファンボルトペンギン	♂ 1日中雄叫びを上げていた。	12/8	チンパンジー	全頭 夕方の地震で、放心状態になる。
10/6	アムールトラ	朝方、ナナエ出産。母子ともに元気。	12/12	アカコンゴウインコ	メレブ♀ クレートトレーニング開始。
10/7	ラクダ	人工飼育個体、園内散歩。来園者と記念撮影、タッチング。	12/12	アフリカゾウ	ダイスケ♀ 左後肢から採血。
10/8	ポニー	ヒロシ♂ 動き活発で、まんまタイムの反応もよい。	12/13	ツキノワグマ	動物脱出防止対策演習(想定動物：オオカミ)
10/9	トナカイ	オアシスタイム(水を飲ませながらの動物解説)実施。好評であった。	12/22	クウノトリ	全頭を冬ごもりさせる。糞みはすぐに冬ごもり体勢に入る。
10/10	シバヤギ	秋の動物ふれあいフェスティバル2日目。エフ♀、心音聴取体験。	12/24	アナグマ	移動動物園初日。トナカイ、ラマ、シバヤギなど9種が参加。
	マーコール	カイオウ♀、マオ♀の入れ替え(新ペア：カイオウ♀×スカラ♀)	12/25	ペリカン	2012出生個体2羽の性別判明。ヒナ(大)♂、ヒナ(小)♀。
10/11	アミメキリン	丞之助(♂、3月齢) 性成熟近いため、♀群から隔離。	12/28	ラマ	冬ごもりさせる。動いている気配なし。
10/12	カリフォルニアアシカ	ララ♀ 泥排便を呈し、反応鈍く、目もうつろ。虫卵多数確認。			左青♂と♀の交尾確認。
		リンリン♀ 本日から、採血頻度を3日に1度にする。	12/29	ピューマ	ヒロ♂ 寝室からキーパー通路に出すトレーニング。
10/13	アフリカゾウ	スミコ♀ サバへの反応よく、強化子として効果を発揮。			2回出すことに成功。
		首周りを触れるようになった。	12/31	ニホンイヌワシ	ぴゅー太♂がぴゅー子♀の背頸部をかみながら、10分ほど交尾行動。
10/15	アフリカゾウ	花子♀ トレーニング音符を統一(ブッド：2次強化子 ヨシ：号令解除)。			西目♀が風斗♂に交尾を催促するような行動を確認。
	ブレイードッグ	飼育1年目の新人教育開始。			
		ユズル♂がモール♀の背中にかみついた交尾姿勢をとる。			



お客様の声

- アフリカゾウの採血トレーニングを見ていた来園者。「すごい。」と歓声と拍手。
- アムールトラ(ヒロシ♂)のまんまタイム。「鶏肉と馬肉のどちらが好きですか。体はもっと大きくなりますか。」
- アカコンゴウインコ(メレブ♀)とのふれあいタイム。「尾に付いているストローは、人がつけたものですか。」
- 初めて見るフラミンゴヒナに来園者の目が釘付けになり、「感激、感動」の声多数。
- フラミンゴ舎を見た来園者。「ガラス張りで見やすく、いい写真が撮れた。」
- モモイロペリカン 今までになくくらいピンク色になっている。
- 散歩中に出会った来園者。「かわいい。ミニブタなのに大きい。」
- 妻がポリビア出身の来園者。にこにこしながら「ポリビアリスザルを見たことを妻に伝えます。」
- アシカのエサやり体験者。「大森山動物園は動物が近くてすごい。」
- いい夫婦の日イベント参加者。「フクロウをこんなに間近に見たのは初めて。とてもかわいい。」
- 「極地ペンギンも展示しているといいですね。」
- 新設リス舎の来園者。かわいらしいリスを見て、「動物園に来る楽しみが増えたわ。」
- 「ゾウやキリンにもっと近づきたい。」
- 「もっと自然に近い形で動物を展示してほしい。」
- ミルヴェンジャーショーを初めて見た30代女性。興奮気味に「感動しました。」

かたばた通信
～編集後記～

コミュニケーションは、毎月1種類の動物が表紙を飾ります。今回はシンリンオオカミです。表紙の動物は、その時、その季節、その年を代表する動物になることが多く、今回は今年の干支である「へび」という案も出ました。結果オオカミとなりましたが、それは昨年メスが大森山動物園に来たことやオスの仲むつまじい姿を多くの方に見てもらいたいとの思い、春に2世誕生を期待する願いもあって、今回の表紙に選びました。コミュニケーションの表紙を飾った動物は、その時の動物園の見所の一つです。次はどんな動物が表紙を飾るのでしょうか？お楽しみに。(保坂)